

抗HIV薬による予防内服についての説明書

感染予防のための内服についての説明を良く読み、服用の意義、注意点について確認してください。
確認できた項目には☑を入れてください。

内服の意義

医療者におけるHIV感染血液による針刺し・切創などの職業上の暴露からHIVの感染が成立するリスクは極めて低いです。強力な多剤併用抗HIV療法が行われる以前の1996年までのデータにおいても、感染確率は約0.3%でした。また、2000年以降25年にわたって新規の職業的曝露による新規患者は報告されていません。

以下の項目を確認して、☑を入れてください。

- ☐ 妊娠していない、あるいは妊娠の可能性がない。
この薬剤は、妊婦または妊娠している可能性のある女性に対する安全性は確立されていません。
- ☐ 慢性 B 型肝炎ではない。
B 型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。
- ☐ 腎機能障害がない。
腎機能障害がある場合、エムトリシタビンの血中濃度が上昇することがあります。

予防内服する抗HIV薬

神奈川県では、針刺し予防薬として、**アイセントレス錠+デシコビ配合錠を配置していましたが、飲みやすさ等を考慮して、ビクトルビ配合錠へ順次移行しています。各針刺し事故対応病院では、以下の①・②のいずれかを配置しています。**

①	テノホビルアラフェナミド/エムトリシタビン (TAF/FTC) (デシコビ配合錠HT) 	ラルテグラビル(RAL) (アイセントレス錠400mg)  1日2回 1回1錠
飲み方	① デシコビHT 1錠  + アイセントレス400 1錠  できるだけ早く内服	
	② アイセントレス400 1錠  ①の12時間後に内服	
副作用	主な副作用 頭痛、悪心、下痢、疲労	主な副作用 下痢、悪心、疲労、頭痛、浮動性めまい
	重篤な副作用 腎不全・重度の腎機能障害、乳酸アシドーシス、脂肪沈着による重度の肝腫大	重篤な副作用 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、 薬剤性過敏症症候群
注意点	代表的な副作用などの仕様上の注意のみを記載しています。詳細は添付文書を参照してください。 普段よく使われる薬剤や市販の胃薬、サプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。(マグネシウム・アルミニウム含有製剤) 針刺し事故対応病院で提供する予防薬は初回内服分です。推奨されている28日間の予防内服を継続するかどうかは、専門医と相談してください。	

②	ビクトグラビルナトリウム/エムトリシタビン/テノホビル アラフェナミドフマル酸塩 (ビクトルビ配合錠)  1日1回 1回1錠	
副作用	主な副作用 悪心、下痢、頭痛	
注意点	リファンピシン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、セイヨウオトギリソウ含有食品を服用・使用している場合、服用することができません。 また、普段よく使用される薬剤や市販のサプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。(マグネシウム・アルミニウム含有製剤等) 針刺し事故対応病院で提供する予防薬は初回内服分です。推奨されている28日間の予防内服を継続するかどうかは、専門医と相談してください。	